

標準ライブラリの不具合の対処方法

1	概要.....	3
2	不具合の発生したリビジョンが Rev11 以前の場合.....	4
3	不具合の発生したリビジョンが Rev12.1 以降の場合.....	6
3.1	Rev13 で対処可能な不具合.....	7
3.1.1	デマンド履歴.....	7
3.1.2	信号一覧.....	8
3.1.3	稼働監視.....	9
3.2	Rev15.1 で対処可能な不具合.....	10
3.2.1	カメラ登録.....	11
3.2.2	比較トレンドグラフ.....	12
3.2.3	エネルギー管理.....	13
3.2.4	トレンドグラフ.....	14
3.2.5	ガイダンス機能.....	15
3.2.6	イベントリアルタイム.....	16
3.2.7	イベント履歴.....	17
3.2.8	アラーム履歴.....	18
3.2.9	アラームサマリ.....	19
3.2.10	信号一覧.....	20
3.2.11	付箋機能.....	21
3.2.12	稼働監視.....	22

1 概要

本書は、製品パッケージの標準ライブラリ（画面ライブラリ及び標準フレームワークで提供される機能）で発生した不具合の対処方法を掲載しております。不具合が発生した製品パッケージのリビジョンが [Rev11 以前の場合](#)は、製品パッケージを最新のリビジョンに更新し、標準ライブラリを最新のものに入れ換えた後、お客様のカスタマイズした箇所を最新フレームワークに適用してください。不具合が発生したリビジョンが [Rev12.1 以降の場合](#)は、各リビジョンのリリース時点で公開された、標準ライブラリの不具合毎の対処方法のページをご参照ください。

2 不具合の発生したリビジョンが Rev11 以前の場合

標準ライブラリとは、画面ライブラリと標準フレームワークで提供される機能のことです。Rev11 以前の標準ライブラリの不具合に対処するために、ご使用中の Rev11 以前の標準ライブラリを最新 Rev の標準ライブラリに入れ替える場合は、以下の手順に従い対処を行ってください。

1. お客様でカスタマイズした箇所を抜き出してください。
2. 製品パッケージを最新リビジョンに更新してください。
製品パッケージを最新のリビジョンに更新する方法は、弊社のホームページを参照してください。
3. ご使用いただいている標準ライブラリを、最新リビジョンのものに入れ換えてください。標準フレームワークを新規に作成する場合の手順については、SCADALINXpro6 ヘルプ（マニュアル > 監視システム構築ガイド > プロジェクトの作成 > 標準プロジェクトの作成）を参照してください。

（Rev15.1 の場合）

The screenshot shows a web-based manual page for SCADALINXpro6, version Rev15. The page title is '標準プロジェクトの作成' (Standard Project Creation). The left sidebar contains a navigation menu with categories like 'はじめにお読み下さい' (Please read first), '動作環境' (Operating Environment), 'パッケージの構成' (Package Structure), 'ライセンスについて' (About License), 'インストール' (Installation), 'アンインストール' (Uninstallation), 'Ver6への移行方法' (Migration Method to Ver6), 'トレーニング' (Training), 'マニュアル' (Manual), and '監視システム構築ガイド' (Monitoring System Construction Guide). The '監視システム構築ガイド' section is expanded to show 'プロジェクトの作成' (Project Creation), which includes '標準プロジェクトと独自プロジェクト' (Standard Project and Custom Project), '標準プロジェクトの機能紹介' (Introduction to Standard Project Features), and '標準プロジェクトの作成' (Standard Project Creation), which is currently selected. The main content area has a heading '標準プロジェクトを作成する' (Create Standard Project) and explains that the wizard on the start page is used for project creation. It includes a screenshot of the 'Start Page' with three buttons: 'スタンダードプロジェクト' (Standard Project), 'カスタムプロジェクト' (Custom Project), and 'フレームワークプロジェクト' (Framework Project). Below the screenshot, it states that selecting a framework library displays a wizard-style settings screen. A second heading, '標準フレームワークライブラリの利用手順' (Usage Procedure for Standard Framework Library), follows, indicating that the usage procedure will be explained below.

また、画面ライブラリを新規に作成する場合の手順については、SCADALINXpro6 ヘルプ（マニュアル > 画面作成ガイド > 画面ライブラリの利用 > 画面ライブラリの利用方法）を参照してください。

（Rev15.1 の場合）



SCADALINXpro6 マニュアル Rev15

マニュアル > 画面作成ガイド > 画面ライブラリの利用 > 画面ライブラリの利用方法

画面ライブラリの利用方法

画面ライブラリは、SCADALINXpro Editorのライブラリタブから選択することにより取り込むことができます。

プロジェクトに画面ライブラリを取り込むには、以下の2段階の手順に従って作業を行います。

- 1) フォーム一式の取り込み
まずは、画面ライブラリに含まれている各種フォームの取り込みを行います。ほとんどの画面ライブラリはメイン画面や設定のためのダイアログなどの複数のフォーム群で構成されていますが、ライブラリビューからドラッグ&ドロップするだけでフォーム一式を簡単に取り込むことができます。
操作方法については以下を参照してください。
[画面ライブラリのフォームを取り込む](#)
- 2) サーバ設定の取り込み（任意）
必要に応じて、画面ライブラリに登録されているSCADALINXpro Serverのサーバ側の設定を取り込みます。画面ライブラリのサーバ側の設定については、サーバ側の設定（アクションやイベントなど）をユーザー自身が独自に手動で行うこともできるため、この作業は必要に応じて行います。
操作方法については以下を参照してください。
[画面ライブラリからサーバ設定を取り込む](#)
- 3) 画面ライブラリの画面呼び出し

4. お客様のカスタマイズ箇所を最新フレームワークに適用してください。

3 不具合の発生したリビジョンが Rev12.1 以降の場合

お使いの標準ライブラリとバージョンをご確認ください。

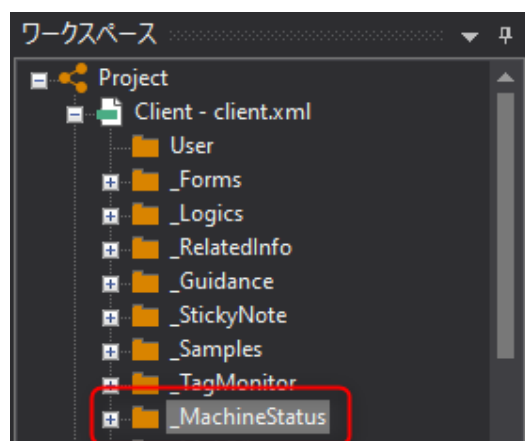
また、下表の標準ライブラリについては、古い対処方法から順番に適用してください。ライブラリのバージョンは日付形式です。例えば LibraryVer 20210219 の場合、2021 年 2 月 19 日リリースとなります。

詳しくは、各対処方法のページをご参照ください。

■標準ライブラリ	■不具合の発生したバージョン
信号一覧 (フォルダ名: _TagMonitor)	LibraryVer 20210219 LibraryVer 20200205
稼働監視 (フォルダ名: _MachineStatus)	LibraryVer 20210219 LibraryVer 20200318

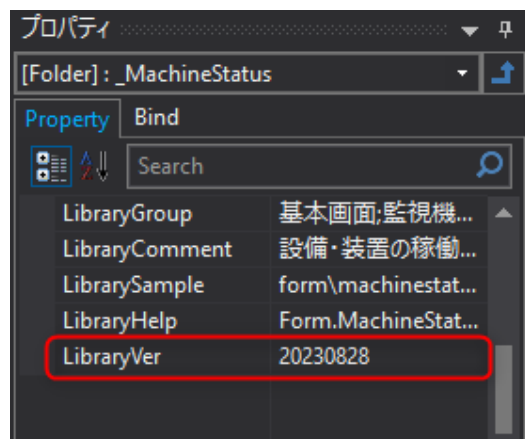
お使いの標準ライブラリの判別方法

標準ライブラリは、フォルダ名で判別出来ます。



標準ライブラリのバージョン

標準ライブラリのバージョンは、フォルダプロパティの「LibraryVer」の値で判別出来ます。



3.1 Rev13 で対処可能な不具合

Rev13 リリース時点で公開された標準ライブラリの不具合は下表のとおりとなります。

■標準ライブラリ	■不具合の発生したバージョン
デマンド履歴 (フォルダ名: _DemandHistory)	LibraryVer 20200205
信号一覧 (フォルダ名: _TagMonitor)	LibraryVer 20200205
稼働監視 (フォルダ名: _MachineStatus)	LibraryVer 20200318

3.1.1 デマンド履歴

不具合内容

Rev13 で対処可能な、デマンド履歴の不具合

<対象>

以下のいずれかにあてはまる場合

- ・ 標準フレームワーク (Rev12.1) のデマンド履歴を利用している場合
- ・ 画面ライブラリのデマンド履歴 (LibraryVer 20200205) を利用している場合

<不具合内容>

- ・ デマンド履歴の日報表示の際、グラフの時刻の表記を修正。
例) 0:00~0:30 の時刻を 0:30 のデータとして表記していたものを、0:00 のデータとして表示

この不具合に対する対処方法

■パッチファイル

- ・ 最新リビジョンのアップデートファイル (弊社のホームページからダウンロードしてください)

■画面側の修正

1. SSPR06 を最新リビジョンにアップデートします。製品パッケージを最新のリビジョンに更新する方法は、弊社のホームページを参照してください。
2. SCADALINXpro Editor で該当プロジェクトを開きます。
3. _DemandHistory フォルダを新しい画面ライブラリと挿し変えます。
※ SCADALINXpro Editor のライブラリタブから、「デマンド履歴」をワークスペースビューヘドラッグ&ドロップで追加します。
4. 古い_DemandHistory フォルダは削除、もしくはリネームします。
※ お客様がソースコードをカスタマイズしている場合は、削除時にご注意ください。

3.1.2 信号一覧

不具合内容

Rev13 で対処可能な、信号一覧の不具合

<対象>

以下のいずれかにあてはまる場合

- ・ 標準フレームワーク (Rev12.1) の信号一覧を利用している場合
- ・ 画面ライブラリの信号一覧 (LibraryVer 20200205) を利用している場合

<不具合内容>

- ・ 数値を表示の際、1000 以上値をメーター表示すると正しく表示されない

この不具合に対する対処方法

■パッチファイル

- ・ 最新リビジョンのアップデートファイル (弊社のホームページからダウンロードしてください)

■画面側の修正

1. SSSPR06 を最新リビジョンにアップデートします。製品パッケージを最新のリビジョンに更新する方法は、弊社のホームページを参照してください。
2. SCADALINXpro Editor で該当プロジェクトを開きます。
3. _TagMonitor フォルダを新しい画面ライブラリと挿し変えます。
※ SCADALINXpro Editor のライブラリタブから、「信号一覧」をワークスペースビューヘドラッグ&ドロップで追加します。
4. 古い_TagMonitor フォルダは削除、もしくはリネームします。
※ お客様がソースコードをカスタマイズしている場合は、削除時ご注意ください。
5. 続けて、[3.2.10 信号一覧](#)の処置を実施して下さい。

3.1.3 稼働監視

不具合内容

Rev13 で対処可能な、稼働監視の不具合

<対象>

以下のいずれかにあてはまる場合

- ・ 標準フレームワーク (Rev12.1) の稼働監視を利用している場合
- ・ 画面ライブラリの稼働監視 (LibraryVer 20200318) を利用している場合

<不具合内容>

- ・ 稼働状況モニタの小数点桁数の計算で誤差がでる
- ・ 稼働分析とタイムライン、及び月報タイムラインで表示に差異がでる
- ・ タイムラインと稼働分析、及び月報タイムラインのガントチャート表示で収集分類の選択順によって、収集分類に対するバーの色が正しく表示されない

この不具合に対する対処方法

■パッチファイル

- ・ 最新リビジョンのアップデートファイル (弊社のホームページからダウンロードしてください)
- ・ patch_rev13-machinestatus-001.zip

■ファイルの入れ替え

パッチファイル内の以下のスクリプトファイルの入れ替え (上書き) を行ってください。

配布ファイル中の「patch¥src¥server¥machinestatus¥script」

- ・ statuscal.txt
- ・ timecal.txt

■画面側の修正

1. SSPRO6 を最新リビジョンにアップデートします。製品パッケージを最新のリビジョンに更新する方法は、弊社のホームページを参照してください。
2. SCADALINXpro Editor で該当プロジェクトを開きます。
3. _MachineStatus フォルダを新しい画面ライブラリと挿し変えます。
※ SCADALINXpro Editor のライブラリタブから、「稼働監視」をワークスペースビューヘドラッグ&ドロップで追加します。
4. 古い_MachineStatus フォルダは削除、もしくはリネームします。
※ お客様がソースコードをカスタマイズしている場合は、削除時ご注意ください。
5. 続けて、[3.2.12 稼働監視](#)の処置を実施して下さい。

3.2 Rev15.1 で対処可能な不具合

Rev15.1 リリース時点で公開された標準ライブラリの不具合は下表のとおりとなります。

■標準ライブラリ	■不具合の発生したバージョン
カメラ登録 (フォルダ名: _Video)	LibraryVer 20210219
比較トレンドグラフ (フォルダ名: _CompareTrend)	LibraryVer 20210219
エネルギー管理 (フォルダ名: _Ems)	LibraryVer 20210219
トレンドグラフ (フォルダ名: _Trend)	LibraryVer 20210219
ガイダンス機能 (フォルダ名: _Guidance)	LibraryVer 20210219
イベントリアルタイム (フォルダ名: _EventRealtime)	LibraryVer 20210219
イベント履歴 (フォルダ名: _EventHistory)	LibraryVer 20210219
アラーム履歴 (フォルダ名: _AlarmHistory)	LibraryVer 20210219
アラームサマリ (フォルダ名: _AlarmSummary)	LibraryVer 20210219
信号一覧 (フォルダ名: _TagMonitor)	LibraryVer 20210219
付箋機能 (フォルダ名: _StickyNote)	LibraryVer 20200205
稼働監視 (フォルダ名: _MachineStatus)	LibraryVer 20210219

3.2.1 カメラ登録

不具合内容

Rev15.1 で対処可能な、カメラ登録の不具合

<対象>

以下のいずれかにあてはまる場合

- ・ 標準フレームワーク (Rev13~Rev14.1) のカメラ登録を利用している場合
- ・ 画面ライブラリのカメラ登録 (LibraryVer 20210219) を利用している場合

<不具合内容>

「カメラ登録」にて以下の不具合を修正

- ・ ビデオレコーダー画面の録画状況部分で日付を選択するとスクリプトエラーが発生する場合があります問題を修正

この不具合に対する対処方法

■パッチファイル

- ・ 最新リビジョンのアップデートファイル (弊社のホームページからダウンロードしてください)
- ・ patch_rev15-video-001.zip

■画面側の修正

1. SSPRO6 を最新リビジョンにアップデートします。製品パッケージを最新のリビジョンに更新する方法は、弊社のホームページを参照してください。
2. SCADALINXpro Editor で該当プロジェクトを開きます。また、もう一つの SCADALINXpro Editor を起動し、パッチファイル内の「patch¥src¥client¥video.xml」を開きます。
3. 該当プロジェクト側の_Video フォルダ内の「_VideoSelectDateTimeChart」フォームをバックアップの為、別の名前にリネームします。(例「_VideoSelectDateTimeChart_bk」)
4. パッチファイル側の_Video フォルダ内の「_VideoSelectDateTimeChart」フォームを右クリックでコピーし、該当プロジェクト側の「_Video」フォルダへ貼り付けします。(「_Video」フォルダ内の一番下にコピーされます。)
5. 動作を確認し、問題がないことを確認できましたらバックアップでリネームしたフォームは削除してください。

※ お客様がソースコードをカスタマイズしている場合は、削除時にご注意ください。

3.2.2 比較トレンドグラフ

不具合内容

Rev15.1 で対処可能な、比較トレンドグラフの不具合

<対象>

以下のいずれかにあてはまる場合

- ・ 標準フレームワーク (Rev13~Rev14.1) の比較トレンドグラフを利用している場合
- ・ 画面ライブラリの比較トレンドグラフ (LibraryVer 20210219) を利用している場合

<不具合内容>

「比較トレンドグラフ」にて以下の不具合を修正

- ・ `_ChangeSpanMode` が True 時に初期表示が遅い問題を修正

この不具合に対する対処方法

■パッチファイル

- ・ 最新リビジョンのアップデートファイル (弊社のホームページからダウンロードしてください)
- ・ `patch_rev15-trend-001.zip`

■画面側の修正

1. SSPR06 を最新リビジョンにアップデートします。製品パッケージを最新のリビジョンに更新する方法は、弊社のホームページを参照してください。
2. SCADALINXpro Editor で該当プロジェクトを開きます。また、もう一つの SCADALINXpro Editor を起動し、パッチファイル内の「`patch¥src¥client¥trend.xml`」を開きます。
3. 該当プロジェクト側の `_CompareTrend` フォルダ内の「_Main」フォームをバックアップの為、別の名前にリネームします。(例「_Main_bk」)
4. パッチファイル側の `_CompareTrend` フォルダ内の「_Main」フォームを右クリックでコピーし、該当プロジェクト側の「_CompareTrend」フォルダへ貼り付けします。(「_CompareTrend」フォルダ内の一番下にコピーされます。)
5. 動作を確認し、問題がないことを確認できましたらバックアップでリネームしたフォームは削除してください。

※ お客様がソースコードをカスタマイズしている場合は、削除時にご注意ください。

3.2.3 エネルギー管理

(Rev15.1) 旧エネルギー管理 (EMS) からバージョンアップする場合の注意点

旧エネルギー管理で使用していたデータを Rev15.1 にて公開した新エネルギー管理でもご利用頂けます。但し、以下の対象にあてはまる場合は、対処方法を参照ください。

<対象>

以下のいずれかにあてはまる場合

- ・ 標準フレームワーク (Rev13~Rev14.1) のエネルギー管理 (EMS) を利用している場合
- ・ 画面ライブラリのエネルギー管理 (EMS) (LibraryVer 20210219) を利用している場合
- ・ ポイントグループ登録画面のポイントグループ詳細の形式で「エリア」を選択している場合
- ・ 計測ポイント登録画面の形式で「バー」を選択されている場合

<対処方法>

- ・ ポイントグループ登録画面のポイントグループ詳細の形式で「エリア」を選択されている場合は、現在使用中のシステムで形式を「バー」に切り替えてから新しいエネルギー管理 (EMS) に設定ファイルを移設してください。
- ・ 計測ポイント登録画面の形式で「バー」を選択されている場合は、現在使用中のシステムで形式を「バー」以外に切り替えてから新しいエネルギー管理 (EMS) をご使用ください。(新しいエネルギー管理 (EMS) では、形式コンボボックスから「バー」を除外しています。「バー」が選択された状態では「ライン」に自動変換されます)

3.2.4 トレンドグラフ

不具合内容

Rev15.1 で対処可能な、トレンドグラフの不具合

<対象>

以下のいずれかにあてはまる場合

- ・ 標準フレームワーク (Rev13~Rev14.1) のトレンドグラフを利用している場合
- ・ 画面ライブラリのトレンドグラフ (LibraryVer 20210219) を利用している場合

<不具合内容>

「トレンドグラフ」にて以下の不具合を修正

- ・ `_ChangeSpanMode` が True 時に初期表示が遅い問題を修正

この不具合に対する対処方法

■パッチファイル

- ・ 最新リビジョンのアップデートファイル (弊社のホームページからダウンロードしてください)
- ・ `patch_rev15-trend-001.zip`

■画面側の修正

1. SSPR06 を最新リビジョンにアップデートします。製品パッケージを最新のリビジョンに更新する方法は、弊社のホームページを参照してください。
2. SCADALINXpro Editor で該当プロジェクトを開きます。また、もう一つの SCADALINXpro Editor を起動し、パッチファイル内の「`patch¥src¥client¥trend.xml`」を開きます。
3. 該当プロジェクト側の `_Trend` フォルダ内の「_Main」フォームをバックアップの為、別の名前にリネームします。(例「_Main_bk」)
4. パッチファイル側の `_Trend` フォルダ内の「_Main」フォームを右クリックでコピーし、該当プロジェクト側の「_Trend」フォルダへ貼り付けします。(「_Trend」フォルダ内の一番下にコピーされます。)
5. 動作を確認し、問題がないことを確認できましたらバックアップでリネームしたフォームは削除してください。
※ お客様がソースコードをカスタマイズしている場合は、削除時にご注意ください。

3.2.5 ガイダンス機能

不具合内容

Rev15.1 で対処可能な、ガイダンス機能の不具合

<対象>

以下のいずれかにあてはまる場合

- ・ 標準フレームワーク (Rev13~Rev14.1) のガイダンス機能 (LibraryVer 20210219) を利用している場合

<不具合内容>

「ガイダンス機能」にて以下の不具合を修正

- ・ ガイダンスを 10 個以上登録すると、登録済みのガイダンスが 2 個までしか表示されなくなる件を修正

この不具合に対する対処方法

■パッチファイル

- ・ patch_rev15-guidance-001.zip

■画面側の修正

1. SCADALINXpro Editor で該当プロジェクトを開きます。また、もう一つの SCADALINXpro Editor を起動し、パッチファイル内の「patch¥src¥client¥guidance.xml」を開きます。
2. 該当プロジェクト側の_Guidance フォルダ内の「_GuidanceSetup」「_GuidanceViewer」フォームをバックアップの為、別の名前にリネームします。(例「_GuidanceSetup_bk」「_GuidanceViewer_bk」)
3. パッチファイル側の「_GuidanceSetup」フォームを右クリックでコピーし、該当プロジェクト側の「_Guidance」フォルダへ貼り付けします。(「_Guidance」フォルダ内の一番下にコピーされます。) 同様の操作を「_GuidanceViewer」フォームについても行ってください。
4. 動作を確認し、問題がないことを確認できましたらバックアップでリネームしたフォームは削除してください。
※ お客様がソースコードをカスタマイズしている場合は、削除時にご注意ください。

3.2.6 イベントリアルタイム

不具合内容

Rev15.1 で対処可能な、イベントリアルタイムの不具合

<対象>

以下のいずれかにあてはまる場合

- ・ 標準フレームワーク (Rev13~Rev14.1) のイベントリアルタイムを利用している場合
- ・ 画面ライブラリのイベントリアルタイム (LibraryVer 20210219) を利用している場合

<不具合内容>

「イベントリアルタイム」にて以下の不具合を修正

- ・ 画面上部の履歴検索部において、動作が正常でない問題を修正

この不具合に対する対処方法

■パッチファイル

- ・ 最新リビジョンのアップデートファイル (弊社のホームページからダウンロードしてください)
- ・ patch_rev15-eventrealtime-001.zip

■画面側の修正

1. SSPR06 を最新リビジョンにアップデートします。製品パッケージを最新のリビジョンに更新する方法は、弊社のホームページを参照してください。
2. SCADALINXpro Editor で該当プロジェクトを開きます。また、もう一つの SCADALINXpro Editor を起動し、パッチファイル内の「patch¥src¥client¥eventrealtime.xml」を開きます。
3. 該当プロジェクト側の_EventRealtime フォルダ内の「_Main」フォームをバックアップの為、別の名前にリネームします。(例「_Main_bk」)
4. パッチファイル側の「_Main」フォームを右クリックでコピーし、該当プロジェクト側の「_EventRealtime」フォルダへ貼り付けします。(「_EventRealtime」フォルダ内の一番下にコピーされます。)
5. 動作を確認し、問題がないことを確認できましたらバックアップでリネームしたフォームは削除してください。
※ お客様がソースコードをカスタマイズしている場合は、削除時にご注意ください。

3.2.7 イベント履歴

不具合内容

Rev15.1 で対処可能な、イベント履歴の不具合

<対象>

以下のいずれかにあてはまる場合

- ・ 標準フレームワーク (Rev13~Rev14.1) のイベント履歴を利用している場合
- ・ 画面ライブラリのイベント履歴 (LibraryVer 20210219) を利用している場合

<不具合内容>

「イベント履歴」にて以下の不具合を修正

- ・ 画面上部の履歴検索部において、動作が正常でない問題を修正

この不具合に対する対処方法

■パッチファイル

- ・ 最新リビジョンのアップデートファイル (弊社のホームページからダウンロードしてください)
- ・ patch_rev15-eventhistory-001.zip

■画面側の修正

1. SSPR06 を最新リビジョンにアップデートします。製品パッケージを最新のリビジョンに更新する方法は、弊社のホームページを参照してください。
2. SCADALINXpro Editor で該当プロジェクトを開きます。また、もう一つの SCADALINXpro Editor を起動し、パッチファイル内の「patch¥src¥client¥eventhistory.xml」を開きます。
3. 該当プロジェクト側の_EventHistory フォルダ内の「_Main」フォームをバックアップの為、別の名前にリネームします。(例「_Main_bk」)
4. パッチファイル側の「_Main」フォームを右クリックでコピーし、該当プロジェクト側の「_EventHistory」フォルダへ貼り付けします。(「_EventHistory」フォルダ内の一番下にコピーされます。)
5. 動作を確認し、問題がないことを確認できましたらバックアップでリネームしたフォームは削除してください。

※ お客様がソースコードをカスタマイズしている場合は、削除時にご注意ください。

3.2.8 アラーム履歴

不具合内容

Rev15.1 で対処可能な、アラーム履歴の不具合

<対象>

以下のいずれかにあてはまる場合

- ・ 標準フレームワーク (Rev13~Rev14.1) のアラーム履歴を利用している場合
- ・ 画面ライブラリのアラーム履歴 (LibraryVer 20210219) を利用している場合

<不具合内容>

「アラーム履歴」にて以下の不具合を修正

- ・ 画面上部の履歴検索部において、動作が正常でない問題を修正

この不具合に対する対処方法

■パッチファイル

- ・ 最新リビジョンのアップデートファイル (弊社のホームページからダウンロードしてください)
- ・ patch_rev15-alarmhistory-001.zip

■画面側の修正

1. SSPR06 を最新リビジョンにアップデートします。製品パッケージを最新のリビジョンに更新する方法は、弊社のホームページを参照してください。
2. SCADALINXpro Editor で該当プロジェクトを開きます。また、もう一つの SCADALINXpro Editor を起動し、パッチファイル内の「patch¥src¥client¥alarmhistory.xml」を開きます。
3. 該当プロジェクト側の_AlarmHistory フォルダ内の「_Main」フォームをバックアップの為、別の名前にリネームします。(例「_Main_bk」)
4. パッチファイル側の「_Main」フォームを右クリックでコピーし、該当プロジェクト側の「_AlarmHistory」フォルダへ貼り付けします。(「_AlarmHistory」フォルダ内の一番下にコピーされます。)
5. 動作を確認し、問題がないことを確認できましたらバックアップでリネームしたフォームは削除してください。

※ お客様がソースコードをカスタマイズしている場合は、削除時にご注意ください。

3.2.9 アラームサマリ

不具合内容

Rev15.1 で対処可能な、アラームサマリの不具合

<対象>

以下のいずれかにあてはまる場合

- ・ 標準フレームワーク (Rev13~Rev14.1) のアラームサマリを利用している場合
- ・ 画面ライブラリのアラームサマリ (LibraryVer 20210219) を利用している場合

<不具合内容>

「アラームサマリ」にて以下の不具合を修正

- ・ 画面上部の絞り込み検索部において、動作が正常でない問題を修正

この不具合に対する対処方法

■パッチファイル

- ・ 最新リビジョンのアップデートファイル (弊社のホームページからダウンロードしてください)
- ・ patch_rev15-alarmsummary-001.zip

■画面側の修正

1. SSPR06 を最新リビジョンにアップデートします。製品パッケージを最新のリビジョンに更新する方法は、弊社のホームページを参照してください。
2. SCADALINXpro Editor で該当プロジェクトを開きます。また、もう一つの SCADALINXpro Editor を起動し、パッチファイル内の「patch¥src¥client¥alarmsummary.xml」を開きます。
3. 該当プロジェクト側の_AlarmSummary フォルダ内の「_Main」フォームをバックアップの為、別の名前にリネームします。(例「_Main_bk」)
4. 差分ファイル側の「_Main」フォームを右クリックでコピーし、該当プロジェクト側の「_AlarmSummary」フォルダへ貼り付けします。(「_AlarmSummary」フォルダ内の一番下にコピーされます。)
5. 動作を確認し、問題がないことを確認できましたらバックアップでリネームしたフォームは削除してください。
※ お客様がソースコードをカスタマイズしている場合は、削除時にご注意ください。

3.2.10 信号一覧

不具合内容

Rev15.1 で対処可能な、信号一覧の不具合

<対象>

以下のいずれかにあてはまる場合

- ・ 標準フレームワーク (Rev13~Rev14.1) の信号一覧を利用している場合
- ・ 画面ライブラリの信号一覧 (LibraryVer 20210219) を利用している場合

<不具合内容>

「信号一覧」にて以下の不具合を修正

- ・ 画面上部の絞り込み検索部において、動作が正常でない問題を修正
- ・ 一覧表示の検索ヘッダ部において、動作が正常でない問題を修正

この不具合に対する対処方法

■パッチファイル

- ・ 最新リビジョンのアップデートファイル (弊社のホームページからダウンロードしてください)
- ・ patch_rev15-tagmonitor-001.zip

■画面側の修正

1. SSPR06 を最新リビジョンにアップデートします。製品パッケージを最新のリビジョンに更新する方法は、弊社のホームページを参照してください。
2. SCADALINXpro Editor で該当プロジェクトを開きます。また、もう一つの SCADALINXpro Editor を起動し、パッチファイル内の「patch¥src¥client¥tagmonitor.xml」を開きます。
3. 該当プロジェクト側の _TagMonitor フォルダ内の「_Main」フォームをバックアップの為、別の名前にリネームします。(例「_Main_bk」)
4. 差分ファイル側の「_Main」フォームを右クリックでコピーし、該当プロジェクト側の「_TagMonitor」フォルダへ貼り付けします。(「_TagMonitor」フォルダ内の一番下にコピーされます。)
5. 動作を確認し、問題がないことを確認できましたらバックアップでリネームしたフォームは削除してください。

※ お客様がソースコードをカスタマイズしている場合は、削除時ご注意ください。

3.2.11 付箋機能

不具合内容

Rev15.1 で対処可能な、付箋機能の不具合

<対象>

以下のいずれかにあてはまる場合

- ・ 標準フレームワーク (Rev12~Rev14.1) の付箋機能 (LibraryVer 20200205) を利用している場合

<不具合内容>

「付箋機能」にて以下の不具合を修正

- ・ 付箋リストにて、付箋の有効無効が反映されない件を修正
- ・ 付箋リストにて、付箋の色替えが反映されない件を修正
- ・ 付箋リストにて、設定ボタン「…」が初回押せない件を修正

この不具合に対する対処方法

■パッチファイル

- ・ patch_rev15-stickynote-001.zip

■画面側の修正

1. SCADALINXpro Editor で該当プロジェクトを開きます。また、もう一つの SCADALINXpro Editor を起動し、パッチファイル内の「patch¥src¥client¥stickynote.xml」を開きます。
2. 該当プロジェクト側の StickyNote フォルダ内の「_StickyNoteHidden」「_StickyNoteList」フォームをバックアップの為、別の名前にリネームします。
(例「_StickyNoteHidden_bk」「_StickyNoteList_bk」)
3. 差分ファイル側の「_StickyNoteHidden」フォームを右クリックでコピーし、該当プロジェクト側の「_StickyNote」フォルダへ貼り付けします。(「_StickyNote」フォルダ内の一番下にコピーされます。)同様の操作を「_StickyNoteList」フォームについても行ってください。
4. 動作を確認し、問題がないことを確認できましたらバックアップでリネームしたフォームは削除してください。
※ お客様がソースコードをカスタマイズしている場合は、削除時ご注意ください。

3.2.12稼働監視

不具合内容

Rev15.1 で対処可能な、稼働監視の不具合

<対象>

以下のいずれかにあてはまる場合

- ・ 標準フレームワーク (Rev13~Rev14.1) の稼働監視を利用している場合
- ・ 画面ライブラリの稼働監視 (LibraryVer 20210219) を利用している場合

<不具合内容>

「稼働状況モニタ」にて以下の不具合を修正

- ・ 設定登録の「表示データ」でモニタ選択時に値バインドを設定しない場合にエラーが表示される
- ・ 設定登録の「稼働監視モニタ設定」-「デザイン」でタイトル、またはサブタイトルを非表示とし、上詰め設定としている場合、メッセージ表示の位置が正しく表示されない
- ・ 表示データにモニタを選定してタグの値を表示する際に単位が設定できない

「稼働分析」にて以下の不具合を修正

- ・ 現在時刻以降のデータがある場合に、現在時刻を超えてタイムラインのバーが表示される
- ・ 基準時刻を変更している場合、基準時刻以降のデータがない場合にタイムラインのバーが表示されない
- ・ 基準時刻で分を変更している場合、タイムラインのバーの描画範囲が時単位で表示される
- ・ 設備詳細グラフにおいて、日の開始時刻を 0 時以外に設定し、当日以外の日 (1 日分) を選択したとき、指定した開始時刻から 1 日の範囲で表示されない。(0 時から 23 時の範囲で表示される)

その他、以下の不具合を修正

- ・ 監視対象タグのユニットがオンライン後に通信断となった場合、ガントチャートのバーが伸び続ける。
- ・ オンライン時に監視対象タグのユニットが通信断の場合、集計が行われない。
- ・ オンライン中に監視対象タグのユニットで接続、切断が繰り返された場合に、ガントチャートが正しく表示されない。

この不具合に対する対処方法

■パッチファイル

- ・ 最新リビジョンのアップデートファイル（弊社のホームページからダウンロードしてください）
- ・ patch_rev15-machinestatus-004.zip

■画面側の修正

1. SSPRO6 を最新リビジョンにアップデートします。製品パッケージを最新のリビジョンに更新する方法は、弊社のホームページを参照してください。
2. SCADALINXpro Editor で該当プロジェクトを開きます。また、もう一つの SCADALINXpro Editor を起動し、パッチファイル内の「patch¥src¥client¥machinestatus.xml」を開きます。
3. 該当プロジェクト側の_MachineStatus フォルダ内の「_Andon」「_Detail」「_SetupAndonInfoDialog」フォームをバックアップの為、別の名前にリネームします。
(例「_Andon_bk」「_Detail_bk」「_SetupAndonInfoDialog_bk」)
4. 差分ファイル側の「_Andon」フォームを右クリックでコピーし、該当プロジェクト側の「_MachineSatus」フォルダへ貼り付けします。
(「_MachineSatus」フォルダ内の一番下にコピーされます。)
同様の操作を「_Detail」「_SetupAndonInfoDialog」フォームについても行ってください。
5. 動作を確認し、問題がないことを確認できましたらバックアップでリネームしたフォームは削除してください。
※ お客様がソースコードをカスタマイズしている場合は、削除時にご注意ください。

■ファイルの入れ替え

1. パッチファイル内の「patch¥src¥server¥machinestatus¥script¥statuscal.txt」をプロジェクトフォルダ内の「server¥machinestatus¥script¥statuscal.txt」へ上書きコピーしてください。
※ お客様がソースコードをカスタマイズしている場合は、上書きコピー時にご注意ください。

■サーバファイルの修正

※ 以下の作業前に Rev15.1 以降のパッチ適用が必要です。

1. SCADALINXpro Server で該当のサーバ設定ファイルを開きます。
2. 「Application-Tag-Driver」から「MachineStatus」ユニットを削除します。
※ お客様が、本ユニットの編集（ユニットプロパティの変更、ユニット内へフォルダ・タグの追加・削除）が行われている場合は、以降の作業の後に再設定してください。再設定が必要な場合は、削除ではなくユニット名の変更を行い、再設定後に削除する事をお勧めします。
3. 「Application-Tag-Driver」を右クリックし「CSV ファイルの追加読み込み」で以下ファイルを読み込みます。
パッチファイル内の「patch¥tagcsv¥MachineStatusTag.csv」
4. 読み込まれた「MachineStatus」ユニットを展開し、「MachineStatus-K001-S01(タグパス:MachineStatus.K001.S01)」タグのパラメータに「UNCERTAIN」文字列が付与されていることを確認します。
(正常に更新された事の確認)